No.２９１０

尾根歩きの楽しさを味わおう！

浅　間　尾　根

実施日　２０１８年１２月１日（土）
天　候　晴れ
ﾘｰﾀﾞｰ　濵田　優美子
参加者　石附智江、渋谷京子、遠井謙作、伊藤久雄、石原勝正、小名秀鋭、瀧澤きよの、濵田優美子、宮崎敏男　計9名
費　用　1,974円(立川起算)
タイム　武蔵五日市駅(9:00🚌)浅間尾根登山口(10:05~11:05)数馬分岐(11:10~12:00)人里峠(12:10~12:35)浅間嶺展望台(昼食13:15~14:50)払沢の滝入口(14;50~15:05)払沢の滝(15;20~15;30)払沢の滝入口BS(15:48🚌16:15)武蔵五日市駅

立川駅集合。一人足りない。電車を乗り間違えて間に合わないとのこと。次のバスは2時間後。困った。
頼りになるメンバーから、「人里峠まで来て、そこから合流すれば？」という提案。さっそくその線で追いかけることになり、問題解決。

浅間尾根登山口着。行動開始の準備をし、歩き出すと、あれ？また一人足りない。どうしたどうしたと携帯で連絡を取ってみると、熟睡してバスを乗り過ごし、終点まで行ってしまったとのこと。
幸い、折り返しのバスに乗せてもらって帰ってくれば、15分ぐらいの遅れで登山口バス停に着くとのこと。「健脚だから、すぐ追いつくね」と、残りのメンバーは、先に歩き出す。
休んでいると、後発隊(？)が追い付いてきた。「バスの運転手さんに、一緒の人には起こしてもらえなかったんですね。皆さん自分の事しか考えていないんですね。」と言われたとのこと。
確かにその通り。無事合流できたので、笑い話になったが、リーダーとしては、しまったしまったと反省。
数馬分岐までくれば、あとはほとんど平坦な尾根歩きだ。風もなく、気持ちのいい日だ。
人里峠には、予定より少々早めに着いた。ここでしばらく後発隊その2(？)の到着を待つ。いいタイミングで、合流成功。ここもうまく合流できたので、それぞれの物語の話に花が咲いて、平らな尾根道は、おしゃべりの楽しい尾根歩きとなった。

予定時刻より早く、浅間嶺を通過し、展望台でお昼となった。
１２月といえども、まだ紅葉が残っており、対岸の山の紅葉の風景は、なんとも言えず風情がある。
途中から舗装道路になり、ところどころ、山道に入るが、あるとき気が付くと、後のメンバーがいない。大声で呼べども、返事はなく、一瞬遭難したかと肝を冷やしたが、しばらく行くと、舗装道路を歩いてくるメンバーと合流することができた。舗装道路を行くのも、山道を行くのも、結局は同じところに着くということを思い出し、ほっとひと安堵したが、ここは、分岐で、後ろを待たなかっ、リーダーの責任は大きいと、真剣に反省。

メンバーは、そんなことは気にも留めないふうで、いろいろなところで色々な人がいなくなる今日の山行の珍道中ぶりにさらに話が盛り上がった。
予定時間より少し早く払沢の滝入り口に着き、観光地である払沢の滝の見物に行った。道中は、まだ、紅葉が美しく、また、払沢の滝が、紅葉を手前に細く流れ落ちている様は、なかなか絵になっていた。

全員無事に、バスに乗車し、何事もなかったかのように、今回の山行は終了となった。

（記・濵田　優美子）
（写真提供・石原　勝正）